

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2802	領域略称名	配位アシンメトリ
研究領域名	配位アシンメトリー：非対称配位圏設計と異方集積化が拓く新物質科学		
領域代表者名 (所属等)	塩谷 光彦 東京大学・大学院理学系研究科（理学部）・教授		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域の設定目的は、金属錯体における非対称配位圏の設計、合成、異方集積化法を開拓するための学理構築と、それに基づく新しい物質科学の創成である。分子、集積、空間、電子系の4つの計画研究の有機的な連携によって、これまで検討されなかった非対称配位圏の精密合成と合成・異方集積化技術を開拓し、新機能性物質群の創成と機能発現メカニズムの解明を行うなど、期待以上の成果を上げていることが認められる。

特に、安定な四面体型キラル亜鉛錯体の実現、自発的アシンメトリー組織化、キラルポリチオフェンの合成、キラル分子モーターなどで、顕著な成果を上げている。また、多くの機能データから分子設計について予想できつつあることも評価できる。研究成果に関して1,300報を超える原著論文及び126報の総説として発表したことは特筆すべき点であり、領域内の連携研究、若手研究者の育成、国際的な情報発信なども十分に取り組みれていた。異分野との融合研究も着実に進めており、今後のより一層の発展が期待される。